

第24期第1回 地域農林経済学会常任理事会議事録

日 時：2022年12月25日（日） 15：00～17：30

場 所：オンライン（Zoom）

議 長：伊藤淳史

記 録：鬼頭弥生

出席者：秋津元輝、足立芳宏、伊藤淳史、大仲克俊、北野慎一、鬼頭弥生、木原奈穂子、清原昭子、工藤春代、坂梨健太、柴崎浩平、関根佳恵、高篠仁奈、高田晋史、長命洋佑、西村武司、野中章久、堀田学、増田忠義、松下秀介、Keshav Lall Maharjan、三浦憲、武藤幸雄、矢倉研二郎、山口道利（以上25名、五十音順）

- 1 議長選出：議長に伊藤淳史氏が選出された。
- 2 会長挨拶：秋津会長より就任の挨拶がなされた。

議事

(1) 新執行体制について

秋津会長より会長指名理事および監事について提案があり、その旨承認された。

（理事）大仲克俊、北野慎一、高田晋史、西村武司、野中章久、増田忠義、松下秀介

（監事）香川文庸、中村貴子

これを受けて、第24期常任理事会の執行体制について、以下の通り報告があった。

【新常任理事】（○印は責任者）

会 長 秋津 元樹

副会長（学会賞担当） 足立 芳宏

副会長（組織・広報担当） Keshav Lall Maharjan

企 画 ○松下 秀介、西村 武司、坂梨 健太、青木 美紗

庶 務 ○伊藤 淳史、高田 晋史、鬼頭 弥生

会 計 ○大仲 克俊、木原 奈穂子

編 集 ○野中 章久、工藤 春代、武藤 幸雄、北野 慎一、本田 恭子
増田 清敬、三輪 加奈、坂本 清彦、山下 良平（常任編集委員）

組織・広報 ○長命 洋佑、柴崎 浩平

国際化（会長直轄） ○関根 佳恵、高篠 仁奈、増田忠義

監 事 香川 文庸、中村 貴子

(2) 年間スケジュールの確認について

第24期の年間スケジュールについて、高田庶務担当理事より説明があり、内容を確定した。

なお常任理事会の日程は、第2回：2月23日（祝）10：00～、第3回：4月16日（日）、第4回：9月30日（土）、第73回大会の開催日は10月28日（土）・29日（日）となった。

また、秋津会長より、今期の常任理事会はオンライン開催とすることの確認がなされた（大会前日の理事会は対面開催とする）。

(3) 学会賞選考委員の選出について

足立副会長より、学会賞選考委員の選出の現状について報告がなされた。

(4) 理事会・総会の議事録の確認

高田庶務担当理事より、2022年度理事会、同総会の議事録について報告があり、承認された。

(5) 2022年度大会の結果について

・大会受付者数（庶務）

高田庶務担当理事より、大会対面受付数、および時間管理等の課題について報告がなされた。

・大会シンポジウムおよび個別報告について（企画）

松下企画担当理事より、大会シンポジウムのZoom Webinar 登録・接続数、個別報告エントリー数・報告数、および個別報告優秀賞のエントリー数・選考対象数と課題について報告がなされた。

・国際ミニシンポジウムについて（国際化）

関根国際化担当理事より、国際ミニシンポジウムの参加者数、および広報、報告・討論時間、ウェビナー操作、謝金支払いのための海外送金における課題について報告がなされた。

・大会決算報告について（会計）

大仲会計担当理事より、大会決算報告がなされた。

(6) 事務局業務委託契約について

鬼頭庶務担当理事より、国際ワークショップ発表英論文助成事業にかかる事務局業務の追加委託（申請窓口業務・申請書類等保管業務）について、三役での協議にて、1件あたりの費用を考えると追加委託は困難との議論になった旨が説明された。審議の結果、追加の業務委託はせずに、担当常任理事において申請受付・書類保管を効率的に行う方法を検討することとなった。また、海外送金については経過措置をとりつつ、次回以降の常任理事会において、方法を検討していくこととなった。

(7) 引き継ぎ事項と今後の課題について

1) 企画

松下企画担当理事より、引継ぎ事項および今後の課題として、フォームメーカーの運営や個別報告の予稿の扱いについて、組織・広報担当理事や編集担当理事と議論していきたい旨の説明がなされた。

2) 会計

大仲会計担当理事より、引継ぎ事項として、①剰余金の還元策を講じた結果として赤字会計が続く見込みであること、②国際化対応としての海外送金・クレジット決済導入の検討の必要性、③将来的な学会会計における収入・支出の見直しが必要になる可能性について、報告がなされた。

また、大仲会計担当理事より、編集委員会における引継ぎの会議（対面）に対して旅費支出が必要である旨の説明がなされ、常任理事会として承認することとなった。常任理事の各担当の引継ぎ（対面会議）への旅費支出が可能になるよう、次回の常任理事会において旅費内規改正を審議することとなった。

3) 編集

野中編集担当理事より、24期編集体制について報告がなされ、引継ぎ事項として、①投稿数減少への対策の検討、②報告論文から研究論文への昇格に関し、両区分の関係の見直しの必要性が説明された。また、編集委員選出作業を実施中であること、副編集委員長の設置を協議していることが報告された。

4) 組織・広報

長命組織・広報担当理事より、引継ぎ事項および今後の課題として、学会ホームページ更新作業の完

了、英語サイトの充実に向けた作業継続、国会図書館インターネット資料収集保存事業への参加継続、学会英語略称統一の問題等について説明がなされた。また、柴崎組織・広報担当理事より、今後の課題として、会員減少傾向への対策について説明がなされた。

5) 国際化

関根国際化担当理事より、今後の課題として、①国際ワークショップの報告者・参加者の範囲拡大、当該報告者による大会個別報告・入会・投稿の促進、議論活発化への取組み、②国際ワークショップ発表英論文助成事業に関して、本学会誌への英語論文投稿を増やすための取組み、および海外送金方法の検討、③学会ウェブサイトのバイリンガル化作業について報告がなされた。

6) 庶務

高田庶務担当理事より、引継ぎ事項および今期の課題として、①会員名簿発行における e-naf 会員相互検索機能の利用の検討、②学会英語略称の問題、③理事会の実出席の少なさへの対策、④e-naf と連携したクレジットカード決済導入の可能性について、報告がなされた。また、e-naf の常任理事への管理権限付与とその機能について説明がなされた。

(8) 学会誌編集状況について (編集)

野中編集担当理事より、学会誌の編集状況について報告がなされた。

(9) 学会入退会 (組織・広報)

柴崎組織・広報担当理事より、会員の入退会（新規入会者 4 名、退会者 14 名）および 5 年以上長期学生会員リストについて説明がなされた。後者に関しては、学生会員の範囲（修了後に職についていない者、社会人学生）について今後検討すること、また、リストに挙げられた会員に対しては個別に確認し交渉する対応をとることとなった。

(10) 2023 年度大会に向けて

松下企画担当理事より、今後検討していく予定との説明があり、対面のみにするかハイブリッドにするかという形式についても、社会情勢をみながら検討していきたい旨が報告された。

(11) その他

マハラジャン副会長より、大会時の総会資料の主要部分を日英併記にできないかとの提案がなされ、今後、可能な範囲で対応していくこととなった。

また、北野編集担当理事より、編集担当においてセキュリティが確保されたオンラインストレージを利用したい旨の提案がなされ、適宜利用していくことが承認された。ただし、将来的には他ともリンクできる統合したシステムに合流していくことを検討することとなった。

長命組織・担当理事より、論文最終原稿提出において現在も CD-R 提出が求められる問題について指摘があり、今後、編集委員会において見直しを検討することとなった。

最後に、足立副会長より挨拶があり閉会した。

以上